Wakayama. rbボード Ver. UmeJam 説明資料 ver1.2

Wakayama. rb たろサ

Wakayama.rbボード Ver.UmeJam

特徵

Wakayama.rbボードにPanCakeクラスが追加されたものが、UmeJamです。

この資料では、PanCakeクラスについて説明しています。

ソフト仕様 コマンドはこんな感じです。

パンケーキクラス PanCake. serial (num) PanCake. clear (cn) PanCake. line (x1, y1, x2, y2, cn) PanCake. circle (xc, yc, ra, cn) PanCake. stamp (px, py, tc, string) PanCake. stamp1 (px, py, cn, string) PanCake. image (num) PanCake. video (sw) PanCake. sound (o0, s0, o1, s1, o2, s2, o3, s3) PanCake. sound1 (cn, on, sn) PanCake. reset() PanCake. out (pf)

```
パンケーキのスプライトクラス
Sprite. start(num)
Sprite. create(sn, si)
Sprite. move(sn, px, py)
Sprite. flip(sn, fs)
Sprite. rotate(sn, ra)
Sprite. user(sn, tc, string)

パンケーキのミュージッククラス
Music. play(sw)
Music. score(ch, pn, tt, string)
```

PanCakeはPCNさんが販売しいるマルチメディアボードです。

http://pcn.club/

PanCakeで使うシリアルポート番号を指定: PanCake. serial (num)

num: シリアルポート番号(1~3)

画面を消去: PanCake. clear(cn)

cn: 色番号

画面に線を引く: PanCake. line(x1, y1, x2, y2, cn)

(x1, y1)-(x2, y2)に線を引きます

cn: 色番号

画面に円を描く: PanCake.circle(xc, yc, ra, cn)

(xc, yc)を中心に円を描く

ra: 半径 cn: 色番号

画面に8x8の絵を描く: PanCake.stamp(px, py, tc, string)

px, py: 絵の左上座標

tc. 透明色

string: 16進数の文字列が64個

画面に8x8の1色の絵を描く: PanCake. stamp1(px, py, cn, string)

cn: 色番号

画面に組み込み画像を描く: PanCake. image (num)

num: 組み込み画像の番号

ビデオ出力のON/OFF: PanCake. video(sw)

sw: スイッチON/OFF[01/00]

4ch同時に音を鳴らす: PanCake. sound(o0, s0, o1, s1, o2, s2, o3, s3)

o0, o1, o2, o3: オクターブ(0?4?7)

s0, s1, s2, s3: 音程(0?b) eはノイズ音、HighBits4は音色(0~3)、音を消すのは FF

1ch音を鳴らす: PanCake. sound1(cn, on, sn)

cn: チャネル

on: オクターブ(0~4~7)

sn: 音程(0~b) eはノイズ音、HighBits4は音色(0~3)、音を消すのは FF

初期状態にする: PanCake. reset()

無し

OUTポートに出力: PanCake. out (pf)

pf: HIGHにするポート番号を16進数で指定

PanCakeはPCNさんが販売しいるマルチメディアボードです。

http://pcn.club/

メソッドの説明 パンケーキのスプライトクラス

スプライトを開始する: Sprite. start (num)

num: 背景に使う組み込み画像番号。背景をベタ塗りにする場合は num のHighBitsを1にします。 スプライト処理を停止するには num を FF にします。

スプライトを作る: Sprite.create(sn, si)

sn: スプライト番号 0~15

si: 組み込みスプライト画像番号。消すのは FF

スプライトの移動: Sprite.move(sn, px, py)

sn: スプライト番号 0~15

px, py: 画面座標

PanCakeはPCNさんが販売しいるマルチメディアボードです。

http://pcn.club/

メソッドの説明 パンケーキのスプライトクラス

スプライトの左右反転: Sprite.flip(sn, fs)

sn: スプライト番号 0~15

fs: ON/OFF[01/00]

スプライトの回転: Sprite.rotate(sn, ra)

sn: スプライト番号 0~15

ra: 角度[0:0°,1:-90°,2:180°,3:90°]

スプライト用8x8画像定義: Sprite.user(dn, tc, string)

dn: スプライトの定義番号 FDかFE

tc: 透明色

string: 16進数の文字列が64個(色の番号です)

PanCakeはPCNさんが販売しいるマルチメディアボードです。

http://pcn.club/

メソッドの説明 パンケーキのミュージッククラス

音楽再生する: Music.play(sw)

sw: START/STOP [01/00]

MMLをサウンドchに登録する: Music.score(ch, pn, tt, string)

ch: チャンネル(00~03)

pn: 01:即再生、00:後で再生

tt: テンポ(0?F)+音色 [ex. 30 == テンポ3、音色0] string: MML 64バイトまで

PanCakeはPCNさんが販売しいるマルチメディアボードです。

http://pcn.club/

使用例

```
PanCake, serial 1 #->シリアルに1番ポートの指定
PanCake. video 0 #->ビデオ オフ
PanCake. reset #->パンケーキのリセット
PanCake. video 1 #->ビデオ オン
PanCake clear 3 #→3番色で塗りつぶす
PanCake. line (0, 0, 79, 45, 8) #-> (0, 0) - (79, 45) に8番色で線を引く
PanCake. line (79.0.0.45.8) #-> (79.0) - (0.45) に8番色で線を引く
PanCake. circle (40, 20, 8, 10) #→(40, 20) を中心とした半径8の円を10番色で描く
Delay (10)
#->(10, 10)に8x8のカラーの絵を出す
PanCake. stamp (10, 10, 0, "0123456789abcdef0123456789abcdef0123456789abcdef0123456789abcdef")
#->(20, 10)に8x8のカラーの2番の色を使った淡色の絵を出す
PanCake. stamp1 (20, 10, 2, "aa55aa55aa55aa55")
de l ay (10)
PanCake. sound1(0, 4, 0x00) #-> 0チャネルで4オクターブ目のドの音を鳴らす
PanCake. sound1(1, 4, 0x04) #-> 1チャネルで4オクターブ目のミの音を鳴らす PanCake. sound1(2, 4, 0x07) #-> 2チャネルで4オクターブ目のソの音を鳴らす
delay (2000)
#-> 4チャネル同時に鳴らす ドミソド
PanCake. sound (4, 0x00, 4, 0x04, 4, 0x07, 5, 0x00)
delay (2000)
```

使用例

```
# 0チャネルに後で再生設定で、テンポ8 音色0 でMMLデータを設定する
MMusic.score(0, 0, 0x81, "a~a~b~r~a~a~b~r~a~b~c~cb~a~baf~r~e~c~e~f~e~eccb~r~")
Music.play 1 #-> 設定したMMLを鳴らす

Sprite.user(0xfd, 0, "00033000000ee0003e33333303e311ee33331133003e33e0003e33e3000300300")
Sprite.create(1, 0xfd) #-> ユーザ定義データをスプライト1番に割り当てる
Sprite.create(0, 0x1e) #-> スプライト0番に1Eのキャラクタを設定する
Sprite.start 6 #-> 背景を6番設定にして、スプライトモードに移行する

10.times do|i|
    y = i * 4
    80.times do|x|
    Sprite.move(0, x, y) #-> 0番スプライトを(x, y)に移動する。

    delay(100)
    end
end
```

PanCakeはPCNさんが販売しいるマルチメディアボードです。

http://pcn.club/